

医療の質と活動の実態調査・改善事業について

当院では、より質の高い医療・公衆衛生の向上のため、私達が行っている医療の内容を客観的に評価しながら、さらに改善させてゆくことが大事だと考えております。

そこで、当院では研究機関と協力して、お受けになった入院および外来診療に関するデータを完全に匿名化した状態で収集して客観的に分析し、医療や施設運営の質を一層向上させることを目指しております。

< 研究参加と既存情報の提供についての公開情報 >

- ① 試料・情報の利用目的及び利用方法、他の機関への提供方法
 - ・匿名化された診療報酬データ（DPC データ）を、医療の質と活動の実態調査を行い公衆衛生の向上に与する目的に、暗号化通信による電子的送付あるいは追跡可能な宅配等により、京都大学へ提供する
- ② 利用又は提供する試料・情報の項目
 - ・厚生労働省により規定され作成した DPC データ（年齢・性別、病名、手術・処置・薬剤等の種類、外来受診回数、入院期間、医療費など）
- ③ 利用する者の範囲
 - ・「医療の質と経済性に関する実態調査」を実施する研究者
研究責任者：京都大学大学院医学研究科医療経済学分野教授 今中雄一
研究実施体制は研究責任者によるホームページをご参照ください
<http://med-econ.umin.ac.jp/disc/>
- ④ 試料・情報の管理責任者
 - ・情報担当責任者：旭川赤十字病院 事務部 経営戦略室 佐藤

本件にご質問・ご意見がございます場合には、ご遠慮なく下記までお問い合わせください。

【窓口】カウンター 2 番

Quality Indicator/Improvement Project (QIP)の参加施設リストの公開 URL

http://med-econ.umin.ac.jp/QIP/sanka_byouin.html